

「技術講習会」「現場見学会」による圧入工法普及活動の展開！

(一社)全国圧入協会(JPA)は、圧入工法の普及を事業の柱としており、建設技術者を対象とした「技術講習会」「現場見学会」を全国で開催し、圧入工法の優位性を普及しています。今年度の普及活動についてトピックを紹介します。

圧入工法技術講習会 764名の技術者に圧入工法を解説

今年度、当協会は5月より全21回の「CPD認定 圧入工法技術講習会」を計画、開催しています。CPD認定とは、専門技術者としての継続教育制度の略で、認定を受けた講習プログラムを受講した技術者には、自己研鑽の証として一定のポイントが付与されます。当協会の講習プログラムは、国際圧入学会(IPA)が発刊した「圧入工法設計・施工指針」の解説、工法の選定手法、躯体部と基礎部が一体となり1本1本が求められる強度を満たす許容構造部材を圧入工法で地中に押し込み、地球と一体化した構造物を構築する「インプラント構造物」の施工事例(道路擁壁、堤防・防潮堤、橋梁など)、積算技術等で構成しており、3時間30分にわたって解説しています。技術講習会は、全国各地の会場で開催しており、受講者(発注者、設計コンサルタント、建設会社の技術者等)は764名となっています。(以下8月31日現在。右表の「圧入工法技術講習会一覧」を参照)

北海道に対する圧入工法の普及活動に注力

北海道は、昨年8月に上陸した台風10号の被害に対し復旧・復興を進めています。迅速な復旧・復興や事前のしっかりとした防災対策が求められる中、5月から6月にかけて旭川・帯広・札幌・室蘭の各市で圧入工法技術講習会を開催しました。特に、この4会場については、北海道開発局・北海道の各担当部および建設関係団体の後援を受け、災害復旧・防災対策に役立つ圧入工法の施工事例を中心に講習を行いました。また、各市では後援者を代表して北海道開発局の担当技術管理課長様より挨拶もいただきました。その結果、4会場では全体の764名のうち341名の方が受講しました。北海道に対して、このように大規模な普及活動はほぼ初めてのことで、発注者・建設関係者の方に圧入工法の理解を深めることができました。

圧入工法の理論と実践を理解できる現場見学会で工法普及

現場見学会は、座学の講習に加え圧入現場が見学できるため、建設関係者には人気のあるプログラムです。今年度はジャイロプレス工法(茨城県大洗町)、硬質地盤クリア工法(愛知県豊橋市)、900ハット形鋼矢板によるノンステーキング工法(鳥取県東伯郡)の現場見学会を開催。このほか、石川県・和歌山県において他団体主催の講習会・見学会へ講師を派遣し、圧入工法の普及に努めています。これら現場見学会に参加した受講者は227名となっています。

JPAでは、今後も精力的に圧入工法の普及活動を行ってまいりますので、協会ウェブサイトにて情報をチェックしてください。

▼圧入工法技術講習会(7月12日、福岡会場)



圧入工法技術講習会一覧
(8月31日現在)

	開催日	会場	受講者数
1	5月16日	東京都	19名
2	5月23日	広島市	36名
3	5月24日	高松市	36名
4	5月26日	旭川市	82名
5	5月30日	帯広市	83名
6	6月15日	札幌市	133名
7	6月16日	室蘭市	43名
8	6月20日	東京都	23名
9	6月23日	新潟市	19名
10	6月28日	那覇市	37名
11	7月5日	福島市	9名
12	7月6日	仙台市	26名
13	7月12日	福岡市	51名
14	7月14日	熊本市	12名
15	7月20日	大阪市	52名
16	7月21日	名古屋市	47名
17	7月25日	東京都	15名
18	8月4日	札幌市	18名
19	8月23日	宮崎市	6名
20	8月29日	金沢市	17名
	受講者数 合計		764名

▼現場見学会(5月16日、茨城県大洗町)



JPAは、正会員企業を対象に、全国を9地区(北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄)に分け「ブロック会議」を開催しています。ブロック会議は、8月末までに7地区が開催され、9月には関東地区(9月1日)、中国地区(9月14日)が開催予定となっています。これまでのブロック会議の状況について紹介します。

正会員数の増加に伴い、ブロック会議での意見交流がさらに充実

JPAの正会員は年々増加しており182社となっています。(8月31日現在。2016年3月末に比べ22社増加)これに伴い、ブロック会議の参加企業も増えており、各企業が積極的に参画しています。(右表を参照)このような会合は業界では少ないという会員の声は多く、地域に密着した形で情報共有や意見交流が図られています。

歩掛に対する活発な意見交換

JPAは、正会員で構成する「技術委員会」を中心に圧入工法の歩掛について議論し、国土交通省の標準歩掛化や改善を進めています。また、各工法の積算資料を社会へ公開しています。ブロック会議では、今年度の積算資料の改定や、技術支援として普及している「積算ソフト」について情報共有を図っています。意見交換の中では、会員より「歩掛の改善は会員の利益に直結するので、データ提供などに積極的に取り組もう」「積算ソフトは作業が楽で役に立っている」等のコメントがあり、改善についての意見交換が行われました。

担い手確保・人材育成に大きな関心

建設業界で大きな課題になっている、担い手の確保や次世代への技術継承などについて、ブロック会議でも話題の一つに取り上げました。その中では、業界の休日増への取組み状況や外国人労働者の活用の是非について会員相互の情報交換が行われました。

協会活動における会員との協働及び会員相互のコミュニケーションに有効な機会として、今後もブロック会議へ積極的な参画をお願いします。

▼ブロック会議(6月30日、東海地区)



ブロック会議 開催状況一覧(開催済みブロックのみ)

	開催日	ブロック	会場	参加者	
				参加会員 (下段は前年度)	参加者
1	6月30日	東海地区	名古屋市	17社 (11社)	24名 (13名)
2	7月7日	東北地区	仙台市	19社 (15社)	22名 (21名)
3	7月13日	九州・沖縄地区	久留米市	17社 (11社)	21名 (18名)
4	7月19日	近畿地区	大阪市	12社 (10社)	13名 (13名)
5	7月27日	四国地区	高松市	8社 (8社)	10名 (13名)
6	8月1日	北海道地区	札幌市	3社 (3社)	3名 (5名)
7	8月25日	北信越地区	新潟市	9社 (8社)	11名 (9名)

※ 各地区の参加会員は、支店・営業所を含む

▼ブロック会議(7月13日、九州・沖縄地区)



Infomation

事務局からのお知らせ

◇ 歩掛に関する各種情報提供のお願い

積算基準については、2016年度の「国土交通省土木工事積算基準」より硬質地盤クリア工法の歩掛が換算N値600以下まで標準化されています。

一方、土質区分や対象層厚区分、諸雑費率等に課題があると認識しています。また、900ハット形鋼矢板圧入については歩掛の精緻化等が課題となっています。今後、正会員企業の皆さんを対象工法の施工実績情報の提供を依頼しますのでご協力をお願いします。



協会 Web サイト www.atsunyu.gr.jp

【新会員のご紹介】

正会員

- ・(有)ウジイ工重機様 埼玉県さいたま市
- ・金城重機(株)様 沖縄県中城村
- ・(有)宮一建設工業様 沖縄県糸満市
(2017年4月16日～8月入会、50音順)

【会員数の状況】

(2017年8月31日現在)

- ・正会員 182社
- ・協賛会員 24社
- ・賛助会員 3社4団体
- ・特別会員 6名